

会議録

会議の名称	第14回新城市市長選挙立候補予定者公開政策討論会実行委員会
開催日時	令和7年10月28日（火）午後7時00分から
開催場所	新城市役所3階災害対策本部室
会議の次第	1 委員長あいさつ 2 検討 （1）課題整理 （2）辞職等の場合 3 その他
欠席委員	木戸委員・瀬野委員・河合委員

1 委員長あいさつ

委員長からあいさつがされた。

2 検討

(1) 課題整理

委員長	課題整理について、事務局から説明をお願いします。
事務局	【事務局説明概要】 ・ 会場の来場者数及び、Y o u T u b e の視聴数をまとめた。平日の方が祝日より来場者数が多かったことは意外だったが、今後開催を検討する上での貴重なデータになった。 ・ 広報紙、市の公式 L I N E、無線放送、ティーズの市政番組、ポスター及びチラシと使える広報媒体を全て利用して来場者がこの人数に留まったことに会場開催の限界を感じる。 ・ 新旧の市の役職者等見知った顔が多く、純粋な市民の観覧者はかなり少数のイメージであった。そのため、第1回と第2回の顔ぶれが似ていた。やはり、来たい人は日程を合わせて来る。第2回開催時以降のアンケートの回答者の多くが第1回と第2回の両方を会場で見たとしており、数字としても顔ぶれが同じだったことが伺える。 ・ Y o u T u b e は現時点で4年前の再生数に匹敵している。4年前は、選挙後の数字として1, 7 0 0回、9 0 0回、7 0 0回であったため、それよりも若干多い数となっている。 ・ アンケートは、会場での観覧者がほとんどの回答者であり、画面上でのアンケートの難しさを感じる。 ・ ○×質問、その中でも人柄の評価が若干低いが、おおむね参考になったものと思われる。自由記述には、コーディネーターや討論方法の話が複数あったが制度上検討が難しい状況にはある。 ・ 媒体を中心にクロス集計をしてみたが、参考になるイメージはない。会場の来場者にアンケートが大きく偏っているため、有意な数字を見出しづらい。

委員長	それぞれ意見がありましたらお願いします。
委員	会場には会場の良さがありますが、大会議室かこの4階の会議室で十分だと思います。Y o u T u b e 等他の手段があるため行かなかったという声が多かったです。
委員長	自分の周りにはY o u T u b e 勢が多かったです。
委員	まとめをみると1回目の討論に興味があったのかなと思います。選挙前の数字が分かると面白いデータになったのではないのでしょうか。 私も会場は狭くして良いと思います。 アンケートを見るとコーディネーターの話もあり、テーマからずれた討論があった、討論の意味を考えてほしかった、討論ではなく演説だった等の意見もありました。 立候補予定者次第ではあるため何とも言いづらいですが、こういう風に感じする人もいるのかと思いました。 ○×質問で両方挙げることに判断力のないようにしか見えず参考にならないという厳しい意見もありました。 確かに回答がばらけませんでした。
委員	違う回答は1つだけです。
委員長	ほぼ一緒でした。
委員	同じ考えになることはもちろんありますが、今回は、回答で2人を比べるようなことはできませんでした。両方を挙げることは禁止するような方が良かったかもしれません。 S N S でも開催方法に関する意見がありました。複雑な心境ですが。 見てどう思ったのかということを率直に聞きたいですので、アンケートをどこまで重視するかということですが、見た人の意見は大切ですので、動画を見た方に対するアンケートは考えた方が良いと思いました。
委員	自分たちとしては頑張ったと思います。来場者の数を見るとショックを受けたと思います。今回の投票率は下がりましたので、それとの

	関連はあると思います。理由は分かりませんが関心がなかったということです。方法論だけではなく、市民のモチベーションの上げ方も必要な気がしました。 他の人と話したときに若い子が頑張っていた、〇×がほとんど同じだった、まとめることも能力ですが個別の発言時間の2分は少し短いのではないかなという意見がありました。
委員長	投票率は低かったですからね。
事務局	今までで一番低い数字らしいです。
委員	他の市町村の投票率はどのくらいでしょうか。
事務局	豊川はすごく低いですよ。30%台だったような。
委員長	豊川・豊橋は低いですね。
事務局	他市町村で話をすると高いと驚かれます。
委員	都市部に行くと下がって田舎は高い傾向があります。
事務局	市議は地域代表的な要素がありますが、今回は無投票で終わる可能性があったくらいですし、行かなくても当選するような感覚はあったでしょうね。
委員	高齢者の方が投票率は高いですが、その層の自然減や体力的に行けなくなったことが影響している可能性はあると思います。根拠となるものはありませんが。
委員長	次は私から。 今の条例からすると、方法としてダメだったという気はしていません。やれることはやったと思います。 課題としては、今回は推薦委員が両方の陣営から出てきた初めての回でしたが、複数陣営の全員から同意を得て決定するとしていて、今回は順調でしたが、3陣営になったり、落下傘がいたりしたようなときに難くなるタイミングがあっても不思議ではないなと思いました。制度上の危うさがあります。 やむを得ない場合は過半数ということにもなっていますが、崩れたときに参加する、しないの話を発展する可能性もあります。少し怖い

	と思います。 コーディネーターまで承認が必要なのかと思います。アンケートを反映させていくのであれば、検討した方が良いかと思います。テーマから話がずれていく場面もありましたし、過去の話より未来の話の方がという意見もそのとおりです。 しかし、自分がコーディネーターだったとして、言った後が怖いと言えないと思います。顔も名前も出ていますし、片方の主張したいことを止めることになりますので、その後の批判がコーディネーターに向くこともあるでしょうし、恐怖を感じます。 無報酬で動く市民の実行委員に、報酬が必要という意味はなく、その状態の人が矢面に立つには重たいと思います。手が上がらなくなります。 方向性を正すような役割を考えるのであれば、できれば市外の仕事として受けられる方にやっていただく方が良いと思います。 そうすると予算は増えますが、会場規模等で削減できる要素はありますので、その分で補えると良いです。 会場については縮小で良いと思います。
委員	今回の感想として、やる必要性があるのかと正直思いました。関心が離れたのか、関心の高い世代が減ったのかは分かりませんが、同じように4年後も開催する必要性はないと思って、やるにしても大きく形を変える必要はあると思います。 知り合いに話を聞いてみると、市長選より市議選の方が見たいというような、市長選は少し距離があるようなことは言われました。都市部でやるようなきれいな討論会は新城にはそぐわないような、新城らしくできることはあると思いますので、4年後までに探っても良いと思いました。
委員	討論に当たってのコーディネーターの必要性の意見がありました。が、今回の2人だからという要素もあると思います。過去の話になったときに、もう一人がそれを制止するような選択もありましたが、そ

	れをしないことも人柄かなとも思いますが。私は、今の方法が良いのかなと思いました。
委員	よっぽど言いたかったということが分かります。
委員	一般質問のようだったとアンケートにありましたが、そういう風な話をしていましたし、それが人となりですが、未来に向けての発言になるように事前に言う必要はなかったですかね。
委員	過去のことではありますが、見ている人は市議会の中継や現状を知っているわけではないですから、過去の話をするのは方法論としてはあると思います。そこにこだわったことも人柄だと思います。 参考になったという意見が多いですが、今回の話の善し悪しを判断できるほど詳しく知っている人がいるのかといわれれば、ほとんどの人は初めて知ったのだと思います。一番の問題は、市民の関心が高くなっていないことです。 委員長が言われたとおり、推薦委員については変えた方が良くもありません。規則で3人と定められていますが、数を減らす方が現実的なのかもしれません。
委員長	数は1人だと出席できない場合が困りますので、減らすのであれば2人ですが、推薦委員を出してこない選択もあります。
事務局	一番困るのは、出席がない場合です。その場合には、進行が止まってしまう。ぎりぎりの短期決戦ですので運営はかなり混乱します。確実に1人の参加が必要ということが、今の制度の弱点です。 討論会自体が全て性善説でしか成り立っていません。協力関係があって初めて成立する、爆弾を抱えながらの制度だと思います。
委員	この3人の推薦委員ですが、その人選が必要だと認識するタイミングは、現実的には説明会だと思います。そこから準備を始めるとあたふたしてしまいます。 その前の段階で、知ることができるようにしておくことが良いと思います。
委員長	今回ですら説明会開催時に表明していたのは1陣営でしたので、で

	きるとすればホームページへの掲載くらいですが、情報を確定させないといけませんので。多少の前倒しはできると思います。
委員	直接説明する機会が説明会であって、事前に出たい人が見られるように準備をすることは良いと思います。説明会は夏でしたよね。
事務局	8月22日でした。あのときは、反対に説明会の開催が早すぎると別の議員がずっと言っていましたね。まだ表明していない段階で開催されても困るというような。
委員	説明会の開催時期は規則にありましたか。
事務局	規則に、説明会の開催は最初の締め切り日の前日までにとなっています。ただ、資料は事前に公表はできますので。
委員	事前に見られるように準備をしておけば良いと思います。
事務局	4年前の資料は公開されていますので、それは見られる状態になっていました。それを見てから説明会に来たという方もいました。
委員	条例等も知らない状態ということ自体がどうなのか、情報収集はしてもらわないと。
委員	色々な意見がありますが、どう開催すれば合格だったのかと思います。
委員長	今回は合格で良いと思います。ですが、4年後に向けて整理をしておこうというレベルです。
委員	どういう物差しかは人それぞれですね。
委員	参考になったという意見はすごくありますので、継続で良くて、方法についても全然ダメだという意見ではありません。
委員長	それぞれにマイナスな評価もありますが、こういう評価もあったということで。
委員	個人の考え方次第というか。色々ありますので。
委員長	ではこちらで検討(1)は終了したいと思います。

(2) 辞職等の場合

委員長	それでは辞職等の場合について、事務局から説明をお願いします。
事務局	【事務局説明概要】 辞職等があった場合には、1年かけて準備をした今回の討論会を、簡易な準備で実施することになる。新しい委員を人選できないため、万が一の場合には可能であればお願いしたい。
事務局	期間があまりにも短く、最初の参加申出期限が10日前、最終的な申出期限が7日前までです。
委員	ほぼ実行委員会で計画した内容で参加をしてもらう形になりそうですね。
委員	誰も申し込まなかったら開催はないですよ。立候補予定者も準備に時間を取られますし。
委員	現実的ではないスケジュールですね。
委員	行政ではなくてNPO等の場合はどういうふうになりますか。
事務局	動きやすいと思います。行政が開催する場合には、現職の市長が出る可能性があるため、より公正・公平に重きを置いての開催となります。そのため、臨機応変な対応ではなく1つずつ手続を踏んで進めていく必要があり、どうしても時間が掛かって後手になります。そこに流動性を持たせられることが民営の利点です。
委員	民間に委託するようなことはできますか。
事務局	可能ではあると思いますが、委託しても経なければならない手続は大きく変わりませんので、大差はないかと思います。
委員	8年前は、当事者同士で人を出しあってさっと準備をしました。確かな情報かは分かりませんが、アメリカの大統領選でも同じように共和党と民主党で、当事者同士で準備をするそうです。市でも外部に委託できれば良いと思いますが。
事務局	そういう制度設計であれば良かったですが。
事務局	条例検討に参加していましたが、その案も出ていました。理由は忘れましたが、結局その選択はしませんでした。
事務局	受けてもらえるところがある保証はないです。

委員	外部委託が選択肢にある条例に変わると良いと思います。
事務局	今のような紆余曲折を経て今の条例に落ち着いた形です。
事務局	今日少し話をしたかったことですが、1人開催の是非と辞職等の場合の短期決戦の可否について意見をいただきたいです。
委員長	今回の経験を踏まえて意見がほしいということですね。
委員	1人だと個人演説会のような形になりますよね。
事務局	そうですね。
委員	司会の方がコーディネーターとして立候補予定者に話を聞いていく形ですか。
委員長	今の形でやろうとするとそうなります。
委員	こちらから質問を投げかけることはできますが、返答に対する次の部分は司会の個人的な思いになりますので、討論会ではなくなりますよね。
委員長	深掘りをするために多少の見解を入れて振ることは本来ありますが、それができるかは別問題です。
委員	恨まれるような可能性もありますよね。
委員長	怖いですね。
委員	下手などの評価もあり得ますし。
委員長	下手ならまだ良い方で、右とか左とか思想の話まで批判されることもあり得ます。
委員	1人開催はなしということで。
委員	リスクが大きいです。
委員	これは議会に提案をしていくのですか。
事務局	最終的には条例ですので議会に諮ることになりますが、その前に市民自治会議での検討です。4年前はそれでも開催をとりましたが。
委員長	もう一度挙げましょう。
委員	こちらの懸念を伝えて。
委員	討論会ですからね。

委員長	今回のアンケートでも個人演説会みたいで残念だったという意見もありましたし、1人のときは開催しないということにしたいです。
委員	ただその人の思いを聞くだけの会ですよ。それは勝手に別のところでやらしてもらえば良いです。その方がむしろ興味のある人に向けてできます。
委員	公費を使って個人演説の応援をする必要はないでしょう。
委員	より人は来ないと思います。
委員	支援者しか来ませんよね。
委員	2人で討論できれば良いですが。
委員長	気持ちはそうですね。条例の目的には知る機会の提供の意図がありますので、1人でもという反対意見もありますが。
委員	私たちとしては1人開催はなしで良いです。
委員長	それだけの価値があるものにはならないと思うので、なしで良いのではないですかという意見で良いです。
委員	条例を変えるということですね。
事務局	そうですね。4年前にも話題になりましたが、課題としては1人開催と辞職等の場合の現実的な対応の可否です。 性善説の組み立てと現職が出る可能性がある制度であることが最大の弱点です。そのために推薦委員が監視者的な役割を持つことが公平・公正の最大の担保になっています。それがない状態で、制度的にも、実行委員会のメンバーも公平・公正に考えてもらえますが、外部からの評価は分かりません。1人開催の弱点です。
委員長	では、辞職等の場合に進みます。
事務局	不可能ではないですが厳しいです。
委員長	不可能ではないと思いますが、現実的に、誰かに過度に負担が掛かるようなものであればなしの方が良いです。職員だから無理してでもという時代ではもうないですし、その状態が目に見えているのであればなしが良いです。目的に対して人的な犠牲が大きいです。
委員	その方が良いと思います。

委員	24時間フルで動けばできるという発想ではなく、人間らしく動いて時間が足りないというところだと思いますが。
事務局	2回担当した自分が2人いれば何とかできますが。
委員長	異動もありますし、それがきっかけで仕事を辞めるようなことになっていけないですし。
委員	誰でもできる制度設計にしておかないと持続できません。普通の定時の範囲内で開催できれば良いですが、収まらないじゃないですか。
事務局	選管をもう一つ立ち上げるようなイメージですね。課のほかの業務を全て捨てて取り組む形になりそうです。
委員	手続が簡略化できれば良いですが、そこはできないですよ。
事務局	完全に同じです。
委員	これだけ時間を掛けて実施したものを短期では無理じゃないですか。
委員	行政が実施することに限界がありますね。
委員	これまで私たちが費やした時間を考えても普通に無理だと思います。やってみて分かったことということで良いと思います。
委員長	行政にも実行委員会にも立候補予定者にも厳しいということで、イレギュラーなときはやめましょうということで伝えてください。現場目線として。
委員長	それでは検討を終わります。
事務局	ありがとうございました。

3 その他

次回の日程

視聴後アンケート集計後